



# 多摩永山中学校だより

## すべての赤ずきんたち、気をつけて！

校長 佐藤 信雄

『赤ずきん』という童話があります。皆さんも知っていて、読んでもらったことがある方もおいででしょう。

むかしむかし、赤ずきんと呼ばれる女の子とお母さんがいました。ある日、お母さんは赤ずきんに言いました。「おばあさんが病気だから、ケーキとワインを持ってお見舞いに行ってください。ただし、寄り道をしてはいけません。オオカミに出会って話しかけられても、会話をしてはいけません。」と。赤ずきんは頷いておばあさんの家へ出かけました。

森に入ると、向こうからオオカミがやってきました。オオカミは尋ねます。「どこに行くんだい?」。赤ずきんは、お母さんの言いつけを忘れてしまって答えてしまいました。オオカミは言いました。「花を摘んで持って行けば、おばあさんは喜ぶよ。」と。赤ずきんはおばあさんに贈る花を摘み始めました。その間に、オオカミは急いでおばあさんの家に行き、おばあさんを食べてしまうと、その服を着てベッドにもぐりこみました。やがて赤ずきんはおばあさんの家に戻ってきます。ベッドの、おばあさんのふりをしたオオカミに、赤ずきんは尋ねます、

「おばあさん、どうして腕がそんなに太いの？」 「それは、お前をしっかりと抱くためだよ」

「おばあさん、どうしてお目々がそんなに大きいのか？」 「それは、お前をしっかりと見るためだよ」

「おばあさん、どうしてお耳が大きいのか？」 「それは、お前の声をしっかりと聞くためだよ」

「おばあさん、どうして歯がそんなに大きいのか？」 「それは…お前を食べるためだよ！」

ああ可哀そうに、赤ずきんはオオカミに食べられてしまいました。

この後、赤ずきんとおばあさんは家を通りかかった猟師に助けられ、オオカミはお腹に石を詰められて池でおぼれ死んでしまい、赤ずきんはこれからはきちんと言いつけを守らなきゃと思いました、で終わります。これが皆さんの知っている、有名な赤ずきんのお話です。グリム兄弟がこのお話をまとめました。有名な「グリム童話」の一編です。

ところが、グリム兄弟より前に、シャルル・ペローという方のまとめた『赤ずきん』はラストシーンが異なっています。ペローのまとめたお話には、猟師は登場しません。赤ずきんはオオカミに食べられて、そこでおしまいなのです。そしてペローの『赤ずきん』にはこの後、「教訓」が続きます。

教訓。ここでわかること。小さな子供、とりわけ若い娘、美しく、姿形がよく、親切な娘が、どんな人にも耳を傾けるのは、とても悪いこと。不思議なことではありません、たくさんの娘たちを、あの狼が食べても。私の話しているのはあの狼のこと。なぜなら、全ての狼が同じ種類ではないからです。気持ちのいい気質を持った狼もいます。うるさくなく、気難しくもなく、怒ることもなく、親しげで、愛想がよく、穏やかで、若いお嬢様についてきます、家の中まで、そしてその娘の部屋まで。

でも、がっかり！ 知らない人はいません、こうした大人しい狼たちが、全ての狼の中で一番危険だということ。」

子どもや年ごろの娘が、無防備で、無思慮に、人のことを疑わずに素直に聞くだけなら、それはとても危ないことなのです、とペローは述べています。子どもや年ごろの娘は自覚はなくとも、他人には魅力的に映るものなのだと。

生徒の皆さんには、男女の別なくみんな、ただ素直なだけでなく、よく考えて、危険を避けるように過ごしてください。悪いオオカミは、残念ながらこの社会にいて、皆さんを狙っているかもしれません。幸せを求めるのと同時に、不幸を避けるように、よく考え、行動してくださいね。

(4月19日(水)朝礼でのお話から)

この後には、生活指導部からの安全指導と、複数の女性教員からの、素敵な女性になるための心構えや行動を説く「女子会」が行われました。題材や伝え方は異なっても、すべて生徒の安全を願っての講話でした。

子どもや若者を守るのは大人の役割です。本校は保護者の方や地域の皆様とともに、生徒を守って参ります。

## スクール・カウンセラー（SC）のご案内

今年はSCが二名配置となり、月曜日に矢吹幸江SC、火曜日に菅野由里子SCがおいでです。生徒はもちろんですが、保護者の方のご相談にも乗ります。お申し込みは副校長、養護教諭、担任教諭を通すほか、SCに直接申し込みもできます。詳細は「スクールカウンセラーだより」をご参照されるか、本校にお問い合わせください。

学校…042-371-3701 相談室直通…042-375-1797（SC在室時のみ）

## そうだ、図書館へ行こう！ ～ 豊かな世界への誘い～

いざな



1年生は来月に迫った移動教室に向けて、目的地である長野県に関する調べ学習を開始しています。長野県の自然や文化等からテーマを選び、図書館司書の秋山涼子先生のご支援をいただきながら、学校図書館を活用した「文献研究」に取り組みます。今でも、ネットのサイトから

集めた資料より、図書館などを利用して得た文献資料の方が信頼性は高いとされています。生徒の皆さんは、アナログとデジタルの両方のツールを上手に活用できるようになってください。調べ学習に疲れたら学校図書館で読書はいかがでしょう。図書館の本を一冊紹介します。

### 『ロケットボーイズ』 ホーマー・ヒッカム・ジュニア 草思社 2000.1.1

1957年（昭和32年）。炭鉱町の高校生のサニーは、ソビエト連邦が打ち上げた人類初の人工衛星スプートニク1号が夜空を横切るのを見た。大人たちはアメリカが宇宙開発で追い抜かれたことを心配していたが、サニーの目は輝く。「ぼくもロケットを作ろう！ あの空に飛ばそう！」後にNASA（米国航空宇宙局）の技術者になった筆者の、体験をもとにした作品。『遠い空の向こうに』の題で1999年に映画化された。読後のDVD鑑賞もお勧め。



## 一生懸命に、楽しく 新入生を迎える会

4月11日（火）午後、体育館にて新入生を迎える会（新入生歓迎会）が開かれました。生徒会の主催で運営は生徒会本部が務め、まず委員会を中心に生徒会の組織と役割がわかりやすく説明されました。役員や委員長の生徒は役割ややりがいを真剣に語ってくれました。続いて部活動紹介です。どの部活動もいろいろと考え準備を尽くしたのでしょうか、紹介はユーモアにあふれ、そして真剣になされました。上級生は新入生を我が部に迎えようと一生懸命な姿を見せてくれ、新入生も見入っていました。準備から当日の運営まで、生徒の皆さんありがとうございました。たいへん立派でした！

## 前期生徒総会 成功裏に幕

4月21日（金）午後、体育館にて前期生徒総会が激かに開催されました。生徒会活動の最大の機関である生徒総会は、国であれば国会にあたる大切なものです。生徒会本部や各委員会の活動方針が示され、それに対する各クラスからの質問が寄せられ、真剣な答弁がなされました。上級生にとっては「当たり前のこと」と思える質問があったかともれませんが、それは新入生がまだ知らない「多摩永山中学校の当たり前のことを、理解し、知っておいてほしい。」という願いがあったからです。「わからないことは、尋ねる。」という大切な行動が、1年生には特によく見られました。

在校生からは「校則を改定するにはどうしたらよいですか？」という質問も出されました。今の校則、多摩永山中学校の生活の決まりに、どこか不合理に感じられたり、生徒の考えに合っていない所を感じているのでしょうか？生徒の皆さんには「意思表示権」という大切な権利があります。自分の考えを、根拠をもって、具体的に伝えられるといいですね。「ここをこうしたい！」という生徒の皆さんの意見が、学校に寄せられることを心から待っています。

## 躍進する部活動

### 〇女子バレー部 第19回町田市近隣中学生バレーボール大会 午前の部、午後の部ともに1位！

Aコート 多摩永山〇25-13●府中八 多摩永山〇25-17●八王子七  
多摩永山〇25-11●鶴川 多摩永山〇25-18●堺 開催日  
Bコート 多摩永山〇25-14●堺 多摩永山〇25-16●薬師 令和5年3月29日  
多摩永山〇25-14●椋原 多摩永山〇25-17●町田三 おめでとう！

### 〇男子ソフトテニス部 第7ブロック日南支部中学校ソフトテニス研修大会個人戦 第3位獲得！

開催日 令和5年4月16日（日）於 本校 同23日（日）於 日野二中  
増見陸太（3年）・渡邊宗輝（3年）ペア おめでとう！

★お詫びと訂正★ 保護者会の一部資料に、運動会予備日（給食なし・弁当持ち）の日程を5月29日（月）としていましたが、正しくは5月30日（火）でした。お詫びとともに訂正させていただきます。